

BS12 トゥエルビ

2018年1月4日

BS12 トゥエルビ

(ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社)

2018年 年頭の辞

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 代表取締役社長 森内譲による全役職員向け「2018年 年頭の辞」を下記の通りお知らせ致します。

記

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2017年を振り返ると、政治および地政学リスクが意識される局面が度々あったものの、グローバルマーケットの拡大や資源価格の上昇などを背景に、世界的に好景気の一年でした。国内企業の業績も好調で、日経平均株価は、10月には史上最長の16連騰、12月には年初来高値を更新しました。一方で、有効求人倍率がバブル経済期の水準を超えるなど深刻な人手不足が続いており、長時間労働是正、生産性向上といった働き方改革への注目も高まった一年でした。

2017年の当社は、新・中期経営計画（2018年3月期 - 2020年3月期）で設定した在り姿（目指す姿）と定量目標の実現に向け、アクションプランを着実に実行してきました。6月の機構改組では、情報システム・情報セキュリティ強化、放送高度化などを担当する「統括（情報技術）」を社長直下に新設するとともに、マーケティング部を業務推進部へ統合して機動性を高めるなど、変化する市場環境に柔軟に対応できる体制を構築してきました。7月には新しい放送設備がトラブルなく稼働を開始し、11月にはオフィスの全面リニューールを行いました。新規事業では、10月にWEB限定無料経済動画配信サービス「マーケット・アナライズ研究所（アナラボ）」と日本初のオンライン寄席「ミッドナイトよせ太郎」の2つの動画新サービスを開始しました。開局10周年の節目となる年に、こうした数々の取り組みが結実し、放送事故ゼロ、また、累損解消を実現できたことは大変喜ばしいことです。

2018年は、新・中期経営計画の2年目となります。昨年に引き続き、「次の10年（2020年～2030年）を生き抜くための体質強化」と「業容拡大へ向けた新規事業育成」を加速させていきます。当社初となる自社スタジオの新設工事は、4月稼働に向けて順調に進んでいま

す。新スタジオを活用した自社制作番組の品質向上を図ると共に、インターネットでの動画配信サービスの更なるコンテンツ強化に挑んでいきます。

BS 放送業界は、12 月に開始予定の「新 4K8K 衛星放送」に向けた動きが加速しており、大きな変化の年を迎えます。当社も次の 10 年を生き抜くため、現状に安住し守りに入ることなく、新しいことに果敢にチャレンジしてゆく年にしましょう。

最後に、皆さんとご家族のご健勝とご活躍を祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

以上